

# フレームによる分析

## 【「届く」のフレームによる分析】

- ナニが届いているかによって、届いたあとの処理が異なるので、そのものになされる処理のフレームと結合して意味を成す。

例)



# フレームによる分析

---

「メールが届いている」

→読むことが出来る状態にあるということを示している

「この場合 弊社からのメールは、サーバー内に届いているものの、通常のメールボックスには入らずメールが削除されてしまうようです」

→読むことが出来ない状態にある

「パソコンにメールが届いている事を表示したい」

→読まないでいると、困った状態になる可能性がある

「意図していないあて先に届いてしまった場合には何らかの責任がある」

→配達のフレームの条件を、不注意によって満たすことができなかった

「宛先間違いのメールが届いてしまう」

→配達のフレームの条件がみたされず、処理ができない



# フレームによる分析

---

- 届いている物品に通常行われる行為が出来る状態にある、あるいはすでに処理に入っているという意味が出る。
- 物品に対するアフォーダンスによってフレームが活性化される。(物品を見れば、それに対してどういうことができるかが認識される)